

里山辺地区診断書

顔が見え 心つながる 里山辺



さとちゃん

令和5年3月改訂

里山辺地区地域づくりセンター

目 次

はじめに	… 1
1 地区の概要	… 2
(1) 沿革	… 2
(2) 特色	… 2
(3) 総論（現状と課題）	… 3
(4) 地区データ一覧	… 7
2 人口統計	… 8
(1) 人口・世帯数	… 8
(2) 町会別人口・世帯数	… 8
(3) 人口ピラミッド	… 9
(4) 年齢別人口構成	… 9
(5) 年間出生数・出生率	…10
(6) 高齢化率	…10
(7) 人口と高齢化率の推移	…12
3 支援の必要な人	…13
(1) 介護認定を受けている人の数と割合	…13
(2) 要援護者登録をしている人	…14
(3) 障害者手帳を持っている人	…14
(4) 生活保護を受けている人	…14
(5) 外国籍の人	…14
4 国民健康保険加入者の状況（KDB：国保データベース）	…15
5 JAGES「健康とくらしの調査」結果	…21
6 主な施設等	…26
7 各種団体	…28
8 通いの場	…30
9 介護保険・生活支援サービス	…34
10 都市構造可視化分析データ	…35

はじめに

第3次松本市地域づくり実行計画では、地域課題の解決に向けた取組みを推進するため、地区の客観的データを提示して、住民の皆さんによる課題の把握・共有の促進を図ることとしています。

この「地区診断書」は、令和2年度に地域づくりセンターが中心となって、地区の様々なデータを整理して作成したものを更新し改訂版としてまとめたものです。行政として施策の立案に生かすとともに、住民の皆さんと共有することを目的としています。

住民の皆さんには、普段の生活の中で捉えている地区の姿に、「地区診断書」に記載された客観的なデータを合わせて考えていただくことにより、より明確に地区の姿を把握し、地域課題の掘り起しと解決策の検討につなげていただければ幸いです。

里山辺地区地域づくりセンター



1 地区の概要

(1) 沿革

- ・ 1875 年（明治 8 年）1 月 28 日 - 筑摩県筑摩郡林村・大嵩崎新田村・南小松村・北小松村・薄町村・上金井村・兔川寺村・湯原村・荒町村・藤井村・新井村・下金井村が合併して里山辺村となる。
- ・ 1876 年（明治 9 年）8 月 21 日 - 長野県の所属となる。
- ・ 1879 年（明治 12 年）1 月 4 日 - 郡区町村編制法の施行により、東筑摩郡の所属となる。
- ・ 1889 年（明治 22 年）4 月 1 日 - 町村制の施行により、里山辺村が単独で自治体を形成。
- ・ 1954 年（昭和 29 年）8 月 1 日 - 松本市に編入。同日里山辺村廃止。

(2) 特色

ア 地勢

里山辺地区は、美ヶ原高原西麓、薄川が形成した扇状地に位置し、標高約 600 m から西に北アルプスの山並みを一望できる風光明媚な土地です。面積は 11.78 km²、その内山林がおよそ 50% を占め、市街地に近い地区の西側には新興住宅地が増加している一方で、東側には田畑が多く残っており、山裾には田園集落が形成されています。主な交通インフラとしては地区の中心部を東西南北に走る県道と薄川堤防道路、通称五千石街道が整備されています。

イ 歴史

地区の北部には古く奈良時代から天皇が行幸し造営され、安土桃山時代から江戸時代には松本城主の保養地として経営されるなど歴史ある「美ヶ原温泉」があり、東側の山裾を中心に古くからの山辺ぶどうの栽培が行われています。

また、地区内に現存する歴史文化的遺産としては、多くの出土品が発見されている「針塚古墳」（5 世紀後半）や中世小笠原氏の軍事的拠点であった「林城址」（2017 年国の史跡へ指定）、そして明治時代初期の擬洋風校舎である旧山辺学校などがあります。

毎年 5 月に開催される須々岐水神社お船祭りや八坂神社例大祭、7 年に一度催される御柱祭（須々岐水神社、千鹿頭神社）など、五穀豊穰や無病息災を祈る祭事が多くあり、後世へ引き継ぐため氏子総出で盛り立てています。

ウ 主な産業

農業（山辺ぶどう、水稻等）、醸造・酒造業（清酒、醤油、みそ）、飲食業（そば等）、旅館業、製造業（だるま、製材等）

エ 地域の状況

昭和 40 年半ば頃から市街化区域が地区西側を中心に広がり、宅地造成により人口が増加し、その後も農地を開発してアパートや住宅が多く築造され、新旧住民が入り混じる町会構成となっています。

(3) 総論（現状と課題）

ア 住民参加、住民連携等

(7) 住民の主体的な参加について

a 現状

- ・ 16町会の人口格差(120人～1,800人)が大きく、小さな町会では役員が毎年回ってきたり、大きな町会では若い人が増加しているのに役員の担い手がいない状況となっています。また、全体的に町会未加入者も増加して隣組の機能も衰退してきているため、町会役員や民生児童委員の負担が大きくなっています。
- ・ 多くの住民が行政依存の考えが強いため、災害時等に心配な状況です。
- ・ 公民館や福祉ひろばは参加者が固定化しつつあります。また高齢化の影響で、町会や公民館へ出向くことが困難な人も多くなっています。

b 課題

- ・ 町会や隣組では、コロナ禍も相まって住民同士のコミュニケーションの機会が減少し、関係が希薄になっています。
- ・ 次世代の担い手や事業参加者の発掘が課題です。

c 取り組み状況

- ・ 単位町会で通いの場、サロンなどを増やし、町会単位の絆づくりを推進しています。

(イ) 町会と市との協働について

a 現状

- ・ 町会連合会と地域づくりセンターは良好な関係を築いています。
- ・ 任期の入れ替わり時に役員等の経験が無い町会長が増えています。
- ・ 役員をやらされている感が強く、町会の仕事について理解されるまでに時間がかかる状況です。
- ・ 町会運営を単純に「行政の仕事」と捉えている傾向がある。
- ・ 令和元年度から、まちづくり協議会が地区の課題について話し合う場として動き始めました。

b 課題

- ・ 地区の活動の場に参加する人が少なく、町会の機能について理解が薄い状況です。

c 取り組み状況

- ・ まちづくり協議会での地区課題や絆づくりについて話し合いは、コロナ禍で中断を余儀なくされてきましたが、再開に向けて進めています。
- ・ 令和4年度から、地域づくりセンター強化モデル事業の地区重点課題である「防災力向上」に向け協働して活動しています。

(ウ) 市民活動団体、大学等と地域の連携について

a 現状

- ・各種団体がそれぞれの活動計画に基づいた活動を展開しているが、団体を超えて地区の現状と課題について話し合う場が少ない状況です。
- ・特定の人がそれぞれの団体に重複して参加していることが多くなっています。
- ・平成29年からの「地域包括ケアシステム」の勉強会では松本大学の尻無浜教授にアドバイザーとして関与いただきました。
- ・令和元年度に、1町会で東京大学牧野研究室と連携して今後のまちづくりのあり方を模索しました。

b 課題

- ・各種団体ごとに活動しているのみであるが、地区全体での活動になると負担も大きいことから地区全体での活動は成り立たなくなっています。
- ・特定の人が各団体に重複しており、新しい人が広く参加できる仕組みが必要です。

c 取り組み状況

- ・1町会で行った東京大学牧野研究室の研究は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中断した状態ですが、今後の活動再開が見込まれています。

(エ) 地域の人材育成について

a 現状

- ・町会役員が1年あるいは2年で交代するため、次の担い手を探すのが困難になってきています。
- ・ライフスタイルが多様化し、町会に関わらなくても生活に不自由さを感じない人が多くなっています。
- ・現役員は町会住民が町会活動への参加や隣人との関わりをつくるのに煩わしさを感じていると思込みがちであり、広く住民に声をかけられない状況です。
- ・町会役員を引き受けてもらうためには仕事内容を簡単に伝えてほしいという傾向も見られます。
- ・役員を見つけることが先決で、新しいことを企画したり、課題を話し合うことは敬遠されています。
- ・少子化による若者の減少に伴い、昔から地域の交流の場であった伝統的な祭りの存続が難しくなってきているのが現状です。

b 課題

- ・同じ人に役が集中し、新しい受け手が生まれなくなっています。
- ・役員のあり方（役割、任期等）について地域で真剣な話し合いが不足しています。また住民に知られていない状況です。

(オ) 地区の団体の育成支援について

a 現状

- ・町会連合会から各種団体へ交付金が出ています。

b 課題

- ・交付金だけでなく、活動内容への支援が求められています。

イ 行政機関の連携等

(ア) 地域づくりセンター、公民館、福祉ひろばの連携について

a 現状

- ・福祉ひろばと公民館は共催で事業を行うなど連携が進んでいます。
- ・地域づくりセンターの業務が広く住民に理解されていない状況です。

b 課題

- ・福祉ひろばと公民館のそれぞれで、時代に合った事業の企画に合わせ、現行事業の整理整頓と調整が必要です。

c 取り組み状況

- ・地区支援企画会議を開催して常に情報を共有するとともに、地域課題の解決に向けた検討を行っています。

(イ) 地区に関係する行政機関等の連携について

a 現状

- ・里山辺地区支援企画会議を毎月開催することで、関係機関の間で情報共有を図っています。
- ・令和4年度から、2班体制で地域課題の解決に向けた検討を始めました。

b 課題

- ・地区支援企画会議で検討した方策や企画を実際にどう活かしていけるか。

ウ 地区別地域づくり計画

(ア) 計画策定に関する考え方について

a 現状

- ・まちづくり協議会には各種団体に参加してもらい、地区の振興に取り組んでいます。
- ・これまでは、「地区防災」「まちづくりトーク」「挨拶運動」等を進めてきました。

b 課題

- ・一過性のものでなく、継続した話し合いの場にしなければ実効性がなくなってしまうと危惧されます。
- ・意見は出ているが、それをどのようにまとめていくかが課題です。

c 取り組み状況

- ・定期的に協議会を開催し、毎回テーマを決め、意見を出し合っています。

エ 災害時の対応

(ア) 対応策について

a 現状

- ・里山辺地区では、平成17年より、地区自主防災連合会組織が編成されたが、防災部、防犯協会との連携が明確でなかった。年度ごとに見直ししながら、平成26年までは、避難訓練、放水訓練、救助訓練、炊き出し訓練、などを行ってきたが、このような訓練は各町会で実施するように変更し、平成27年からは避難所運営に力を入れるようにした。平成28年には、「避難所運営マニュアル」を作成し、各避難所運営委員会が主体となり訓練を実施しています。
- ・平成29年から地域づくりセンター、公民館、地域包括支援センターの共催で「助けてを言える地域づくり勉強会」を2年間6回開催しました。
- ・令和4年度から3年度間の予定で地域づくりセンター強化モデル事業に取り組みます。地区の重点課題を「災害時における高齢者・要支援者の避難体制の確立」と定め、里山辺地区自主防災連合会が主体となり地区における防災力の向上を目指した取り組みが始まりました。

b 課題

- ・これまで大きな災害の経験がないため、多くの住民は防災意識が低い状況にあります。不測の事態を想定し、常に防災意識を持ってもらうことが必要です。
- ・一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加により、災害時の避難体制に不安があります。
- ・近隣住民の助け合いの関係作りが必要です。

c 取り組み方針

- ・防災講座等により、防災意識を高め住民の助け合いの大切さについて理解を深める取り組みを行います。
- ・支援が必要な住民へ要支援者名簿への登録を促すとともに、災害時の安否確認方法の確立を進めます。
- ・避難所の開設・運営訓練を重ね、避難所整備を進める等避難体制を確立する。

(4) 地区データ一覧

令和4年(2022)年4月1日現在

項目		数値	構成比等 (特記がなければ地区全体の 数値に対する割合)			
人口統計	世帯数	5,442世帯				
	人口	11,864人				
	人口増減 ^{*1}	-44人	-0.4%	R3.1.1の人口に対する増減率		
	自然増減	出生	90人			
		死亡	136人			
	社会増減	転入	389人			
		転出	382人			
		その他(市内転居、職権処理等)	-5人			
	男女別	男	5,757人	48.5%		
		女	6,107人	51.5%		
	年齢別 (三分区)	14歳以下	1,584人	13.4%		
		15～64歳	6,943人	58.5%		
		65歳以上	3,337人	28.1%		
	子供	出生率 ^{*2}	7.6‰			
		年代別 人数	0～3歳(未就園児相当)	354人	3.0%	
			4～6歳(保育園・幼稚園児相当)	307人	2.6%	
7～12歳(小学生相当)			676人	5.7%		
13～15歳(中学生相当)			363人	3.1%		
16～18歳(高校生相当)			326人	2.7%		
高齢者	65歳以上	3,337人	28.1%	(高齢化率)		
	内 65～74歳	1,416人	11.9%			
	内 75歳以上	1,921人	16.2%	(後期高齢化率)		
	一人暮らし高齢者 ^{*3}	459人	13.8%	65歳以上に対する割合		
介護認定	要支援者数	223人	6.7%	65歳以上に対する割合		
	要介護者数		361人	10.8%	65歳以上に対する割合	
		内 要介護1	102人	3.1%	65歳以上に対する割合	
		要介護2	106人	3.2%	65歳以上に対する割合	
		要介護3	52人	1.6%	65歳以上に対する割合	
		要介護4	57人	1.7%	65歳以上に対する割合	
要介護5	44人	1.3%	65歳以上に対する割合			
避難行動要支援者名簿に掲載されている人 ^{*4}		573人	4.8%			
障害者手帳を持っている人 ^{*5}		776人	6.5%			
	内 身体障害者手帳	520人	4.4%			
	療育手帳	93人	0.8%			
	精神障害者保健福祉手帳	163人	1.4%			
生活保護を受けている人	世帯数	88世帯	1.6%			
	人数	102人	0.9%			
外国籍の人	世帯数	44世帯	0.8%			
	人数	116人	1.0%			

*1,*2 人口増減及び出生率は、令和3年1月1日～令和3年12月31日

*3 一人暮らし高齢者数 基準日:令和3年12月1日現在

*4 避難行動要支援者名簿 基準日:令和4年4月1日現在

*5 障害者手帳を持っている人 基準日:令和4年4月1日現在

2 人口統計

(1) 人口・世帯数

ア 現況

令和4年(2022年)4月1日現在

	世帯数	人口
里山辺地区	5,442世帯	11,864人
市における割合	5.1%	5.0%
松本市	107,518世帯	236,345人

イ 増減状況

宅地造成が進み転入者が転出者を上回り、人口は微増となっています。

令和3年(2021)年

	年間増減	自然増減		社会増減			R3.1.1 現在の 人口	
		出生	死亡	転入	転出	その他 (※1)		
里山辺地区	人数	-44人	90人	136人	389人	382人	-5人	11,926人
	増減率(※2)	-0.4%	0.8%	1.1%	3.3%	3.2%	0.0%	
松本市	人数	-1,002人	1,588人	2,692人	9,175人	9,004人	-69人	237,970人
	増減率(※2)	-0.4%	0.7%	1.1%	3.9%	3.8%	0.0%	

※1 職権処理等(ただし地区の数値には市内転居を含む)

※2 令和3年1月1日の人口に対する割合

(2) 町会別人口・世帯数

16町会で構成されており、町会によって町会加入率は違うが、地区全体では68.0%(前年度68.3%)です。

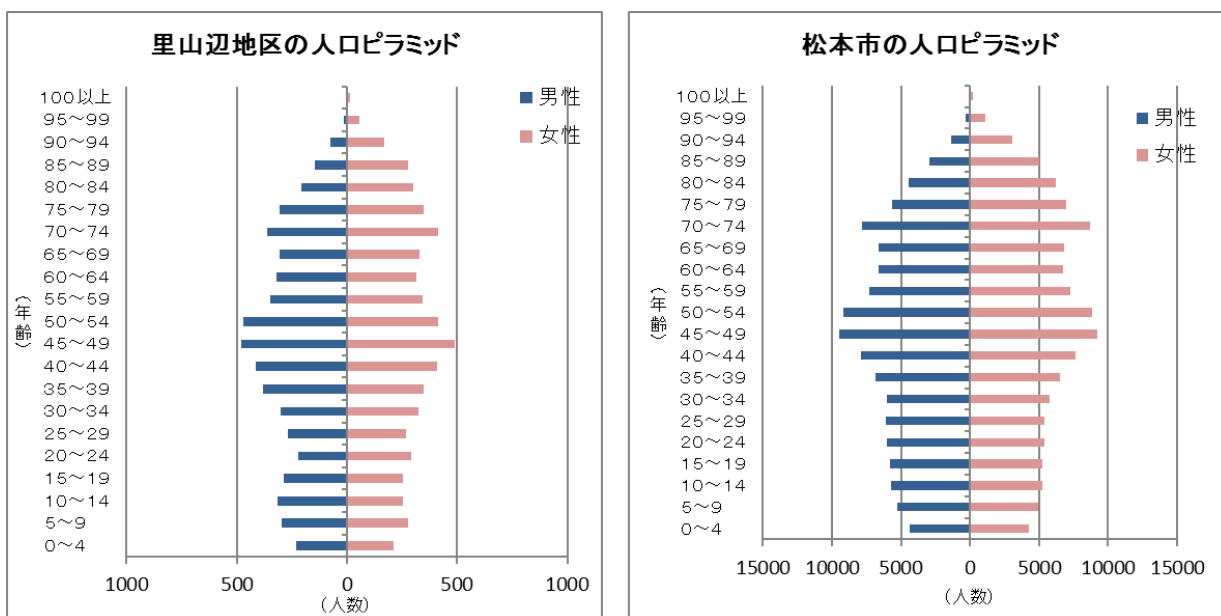
町会名	人口 (人)	世帯数 (戸)	町会加入数 (注1)	回覧数
下金井	1,241	564	380	57
新井	1,806	794	575	65
湯の原	1,090	521	285	45
藤井	715	345	230	35
上金井	322	133	105	11
薄町	431	166	139	30
兔川寺	269	117	92	10
荒町	1,125	562	291	45
西荒町	550	288	170	25
北小松	1,620	716	526	67
西小松	735	319	260	35
南小松	133	80	22	3
林	607	263	182	25
美里町	368	176	153	17
若里町	240	123	90	9
小松町	612	275	200	22
計	11,864	5,442	3,700	501

(注1) 町会加入数は、各町会から市へ報告のあった数字で、企業会員等も含まれます。

(3) 人口ピラミッド

松本市に比べて14才以下の子供の割合が多い。

生産年齢人口では30～49才の割合が多く、それ以外及び65才以上の高齢者の割合は少ない構造となっています。



(4) 年齢別人口構成（三分区）

松本市より年少人口割合が多く、高齢人口割合も少ないため、高齢化率は低くなっています。

令和4年（2022）年4月1日現在

区分		全人口	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢人口 (65歳以上)	
					うち75歳以上	
里山辺地区	人数	11,864人	1,584人	6,943人	3,337人	1,921人
	割合	100.0%	13.4%	58.5%	28.1%	16.2%
松本市	人数	236,345人	29,732人	139,380人	67,233人	37,317人
	割合	100.0%	12.6%	59.0%	28.4%	15.8%

(5) 年間出生数・出生率

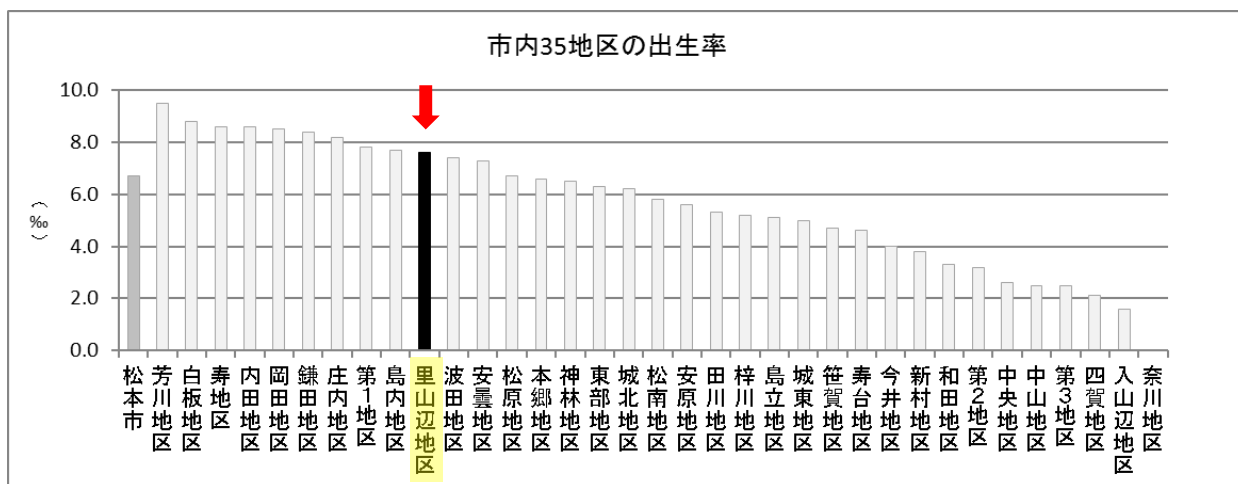
出生率は、松本市全体より多く、市内で多い方から10番目となっています。

令和3年(2021年)

	出生数	出生率(※1)	年央人口(※2)
里山辺地区	90人	7.6%	11,862人
松本市	1,588人	6.7%	237,495人

※1 出生率=年間出生数/年央人口×1,000

※2 年央人口=7月1日の人口

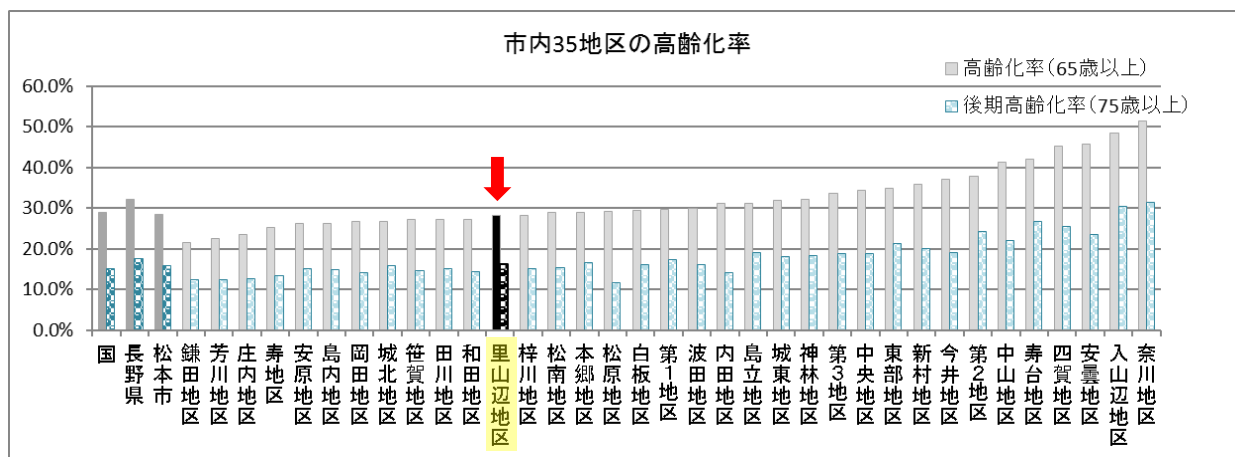


(6) 高齢化率

松本市より低くなっており、市内で低い方から12番目となっています。

令和4年(2022年)4月1日現在

※国は令和4年4月1日現在、令和4年4月20日発表の人口推計(総務省統計)による。



令和4年(2022年)4月1日現在

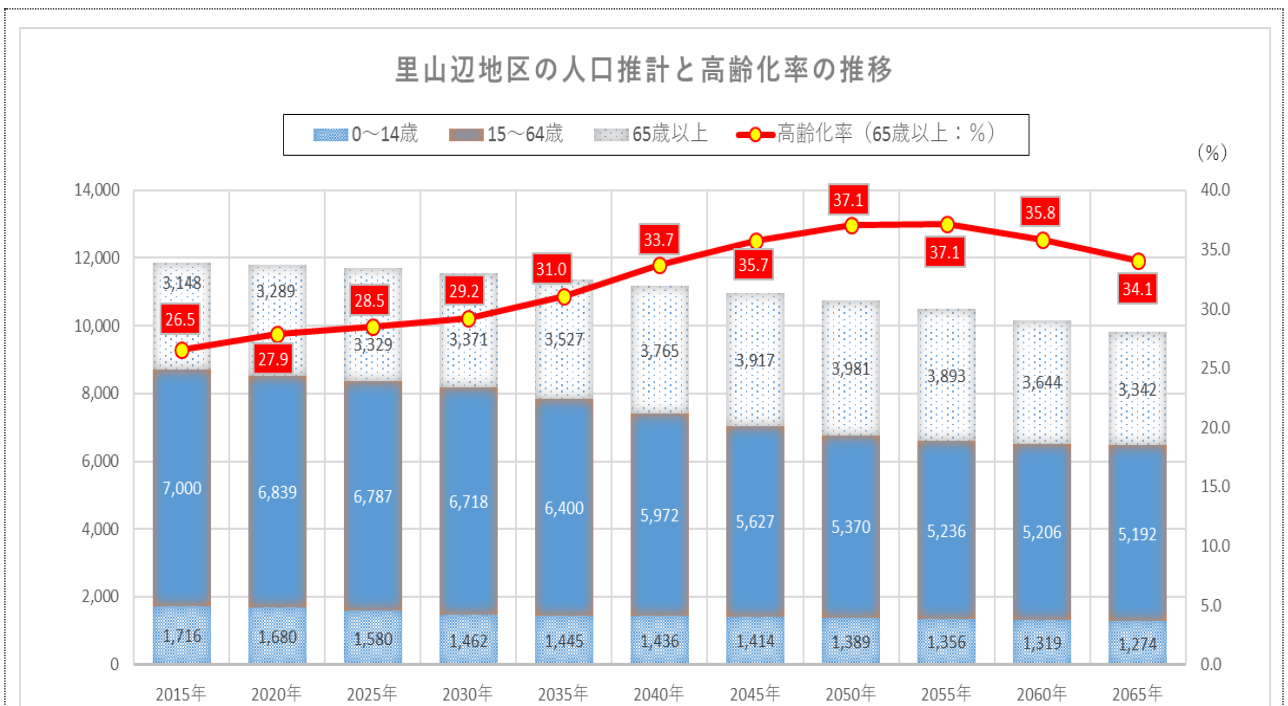
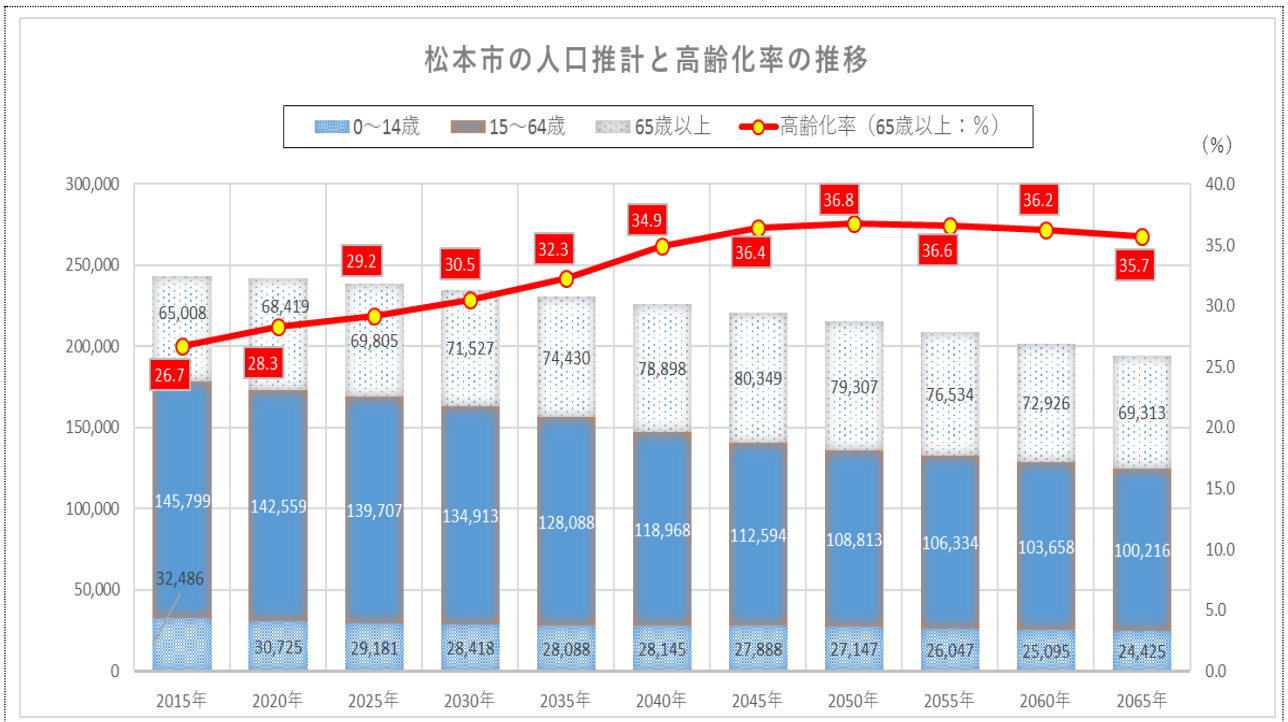
町会名	人口			65歳以上			高齢化率
	計	男性	女性	計	男性	女性	
下金井	1,241	628	613	(35) 237	(8) 99	(27) 138	19.1%
新井	1,806	845	961	(65) 456	(21) 177	(44) 279	25.2%
湯の原	1,090	544	546	(39) 361	(22) 158	(17) 203	33.1%
藤井	715	348	367	(37) 272	(11) 104	(26) 168	38.0%
上金井	322	143	179	(15) 125	(4) 54	(11) 71	38.8%
薄町	431	212	219	(13) 154	(5) 66	(8) 88	35.7%
兎川寺	269	127	142	(5) 87	(0) 36	(5) 51	32.3%
荒町	1,125	558	567	(36) 326	(10) 146	(26) 180	29.0%
西荒町	550	270	280	(20) 116	(8) 51	(12) 65	21.1%
北小松	1,620	792	828	(60) 406	(23) 180	(37) 226	25.1%
西小松	735	360	375	(31) 194	(11) 88	(20) 106	26.4%
南小松	133	64	69	(5) 34	(3) 20	(2) 14	25.6%
林	607	286	321	(22) 217	(8) 92	(14) 125	35.7%
美里町	368	173	195	(28) 122	(10) 54	(18) 68	33.2%
若里町	240	113	127	(15) 91	(8) 39	(7) 52	37.9%
小松町	612	294	318	(17) 139	(8) 60	(9) 79	22.7%
計	11,864	5,757	6,107	(443) 3,337	(160) 1,424	(283) 1,913	28.1%

松本市高齢化率 28.4%

()内は、令和4年7月1日現在の一人暮らし高齢者数

- (7) 人口と高齢化率の推移
松本市と同程度の推移となっています。

松本市人口ビジョン(令和3年度改訂版)



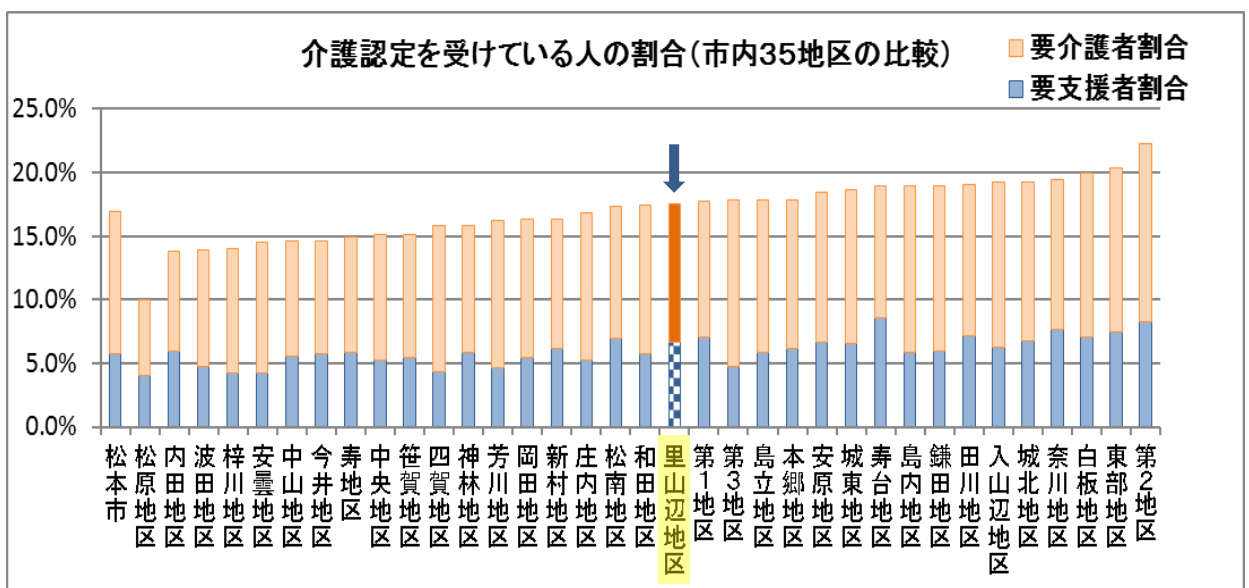
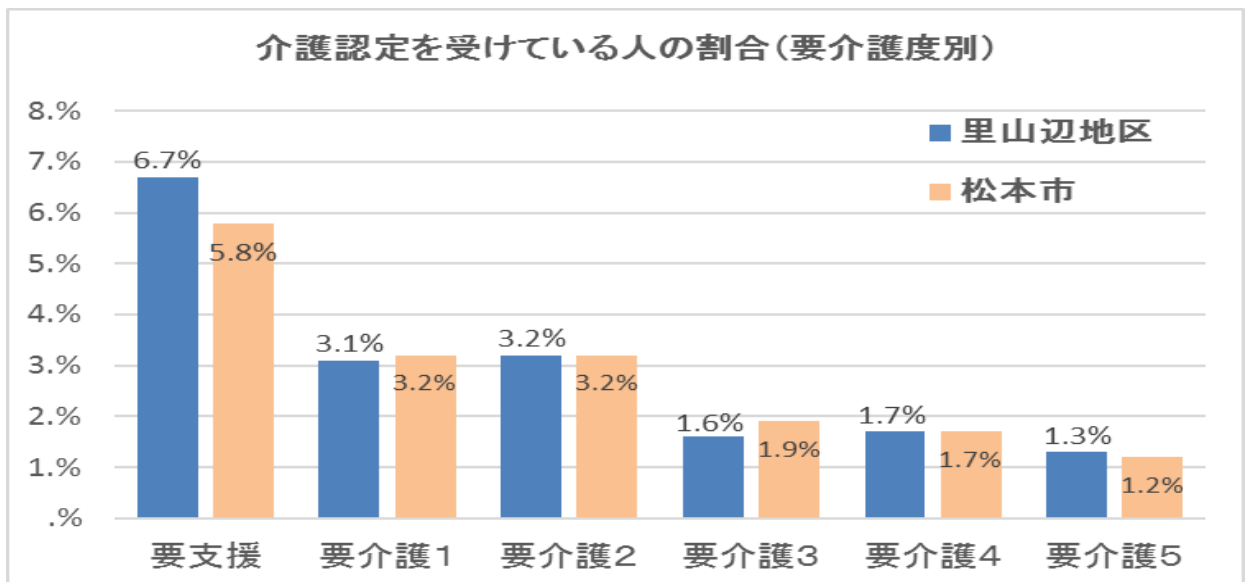
※里山辺地区の推計は、松本市人口ビジョンに里山辺地区の基礎データを当てはめたもの。

3 支援の必要な人

- (1) 介護認定を受けている人の数と割合（高齢人口に対して）
松本市より要支援者数の割合が高くなっています。

令和4年(2022年)4月1日現在
※一人暮らし高齢者数は、令和4年(2022年)7月1日現在

区分	老齢人口 (65歳以上)	要支援者数	要介護者数	(内訳)					一人暮らし 高齢者数	
				要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
里山辺地区	人数	3,337人	223人	361人	102人	106人	52人	57人	44人	443人
	割合	100.0%	6.7%	10.8%	3.1%	3.2%	1.6%	1.7%	1.3%	13.3%
松本市	人数	67,233人	3,887人	7,430人	2,137人	2,121人	1,246人	1,119人	807人	9,446人
	割合	100.0%	5.8%	11.1%	3.2%	3.2%	1.9%	1.7%	1.2%	14.0%



(2) 要援護者登録をしている人

松本市より登録割合が少なく、また、昨年度より 65 人・0.6%減少しています。

令和4年(2022年)4月1日現在

	人数	人口に対する割合
里山辺地区	573 人	4.8%
松本市	12,435 人	5.3%

※避難行動要支援者名簿の登録者数

(3) 障害者手帳を持っている人

松本市より割合は少なくなっています。

令和4年(2022年)4月1日現在

区分		身体障害者 手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳	合計
里山辺地区	人数	520 人	93 人	163 人	776 人
	割合	4.4%	0.8%	1.4%	6.5%
松本市	人数	10,393 人	3,066 人	3,143 人	16,602 人
	割合	4.4%	1.3%	1.3%	7.0%

(4) 生活保護を受けている人

松本市より割合が多く、昨年より 2 世帯・4 人増加しています。

令和4年(2022年)4月1日現在

	世帯数	割合	人数	割合
里山辺地区	88 世帯	1.6%	102 人	0.9%
松本市	1,407 世帯	1.3%	1,673 人	0.7%

(5) 外国籍の人

松本市より割合が少なく、昨年より 5 世帯・9 人減少しています。

令和4年(2022年)4月1日現在

	世帯数	割合	人数	割合
里山辺地区	44 世帯	0.8%	116 人	1.0%
松本市	1,733 世帯	1.6%	3,837 人	1.6%

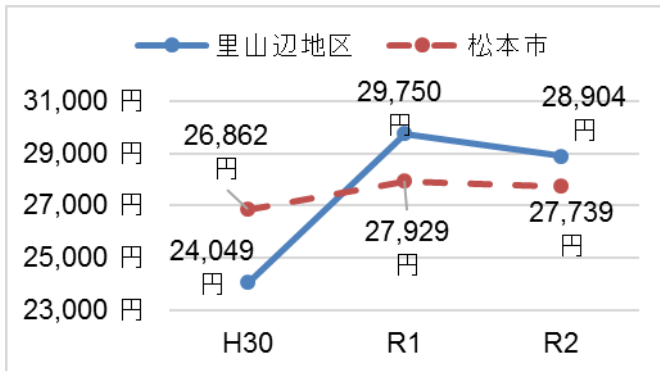
4 国民健康保険加入者の状況（KDB：国保データベース）

KDBは、国民健康保険加入者(0～74歳)の健診・医療・介護等に関するデータを集約したものです。(※掲載データは令和2年のものです。)

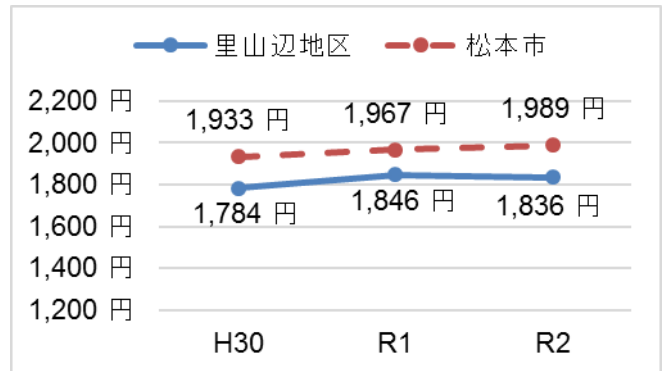
1 医療費

(1) 一人あたりの医療費の推移

<医科医療費>

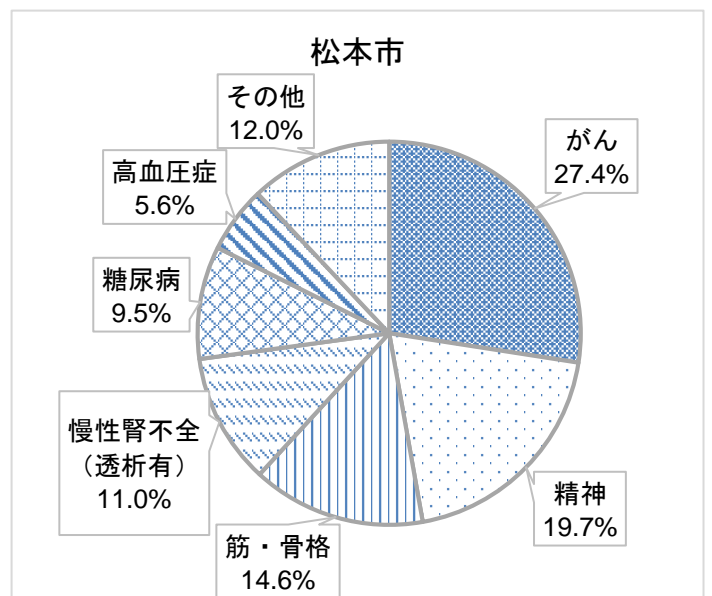
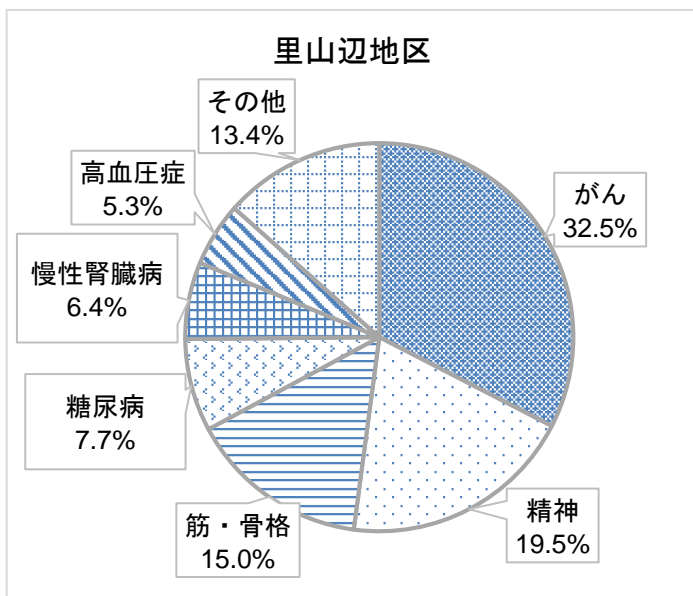


<歯科医療費>



一人あたりの医療費は、R1年から増加し、全市よりも上回っています。
一人あたりの歯科医療費は、全市より安いですが、横ばい傾向です。

(2) R2年 疾病別医療費

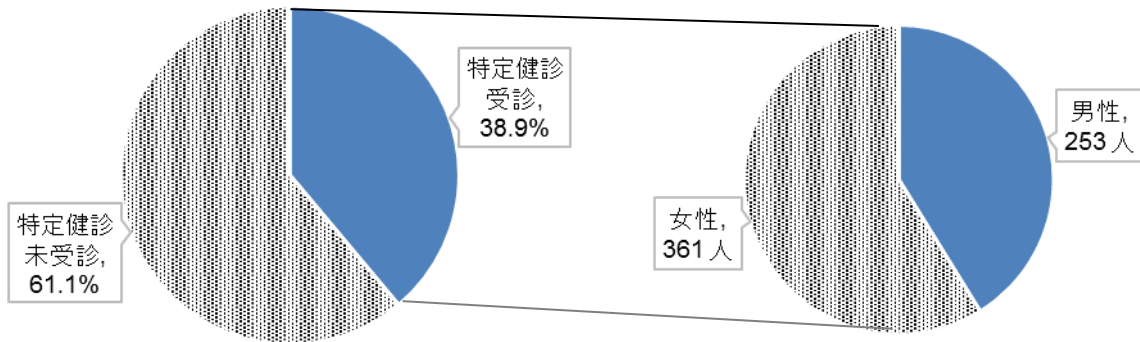


里山辺地区は、全市と比べがんの医療費が高いことが特徴として挙げられます。

2 特定健診の結果

(1) 特定健診受診率

ア R2年 特定健診受診率と特定保健指導実施率



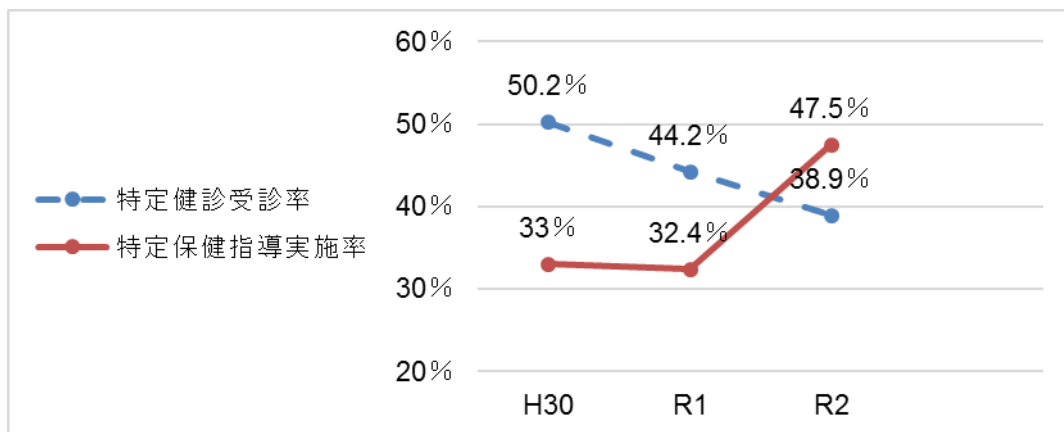
地区内で特定健診を受診した方は、受診対象者の半数以下程度となっています。男女を比較すると、女性よりも男性のほうが健診受診者が少ない状況です。特定健診は、病気の早期発見・早期治療に結び付くだけでなく、生活習慣を見直す機会となります。毎年必ず受けましょう。

イ R2年 性別・年齢別 特定健診受診率

(歳)	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74
男性	14.0%	24.3%	24.0%	27.5%	31.0%	34.4%	43.7%
女性	24.0%	24.1%	27.3%	27.3%	34.8%	46.5%	57.5%

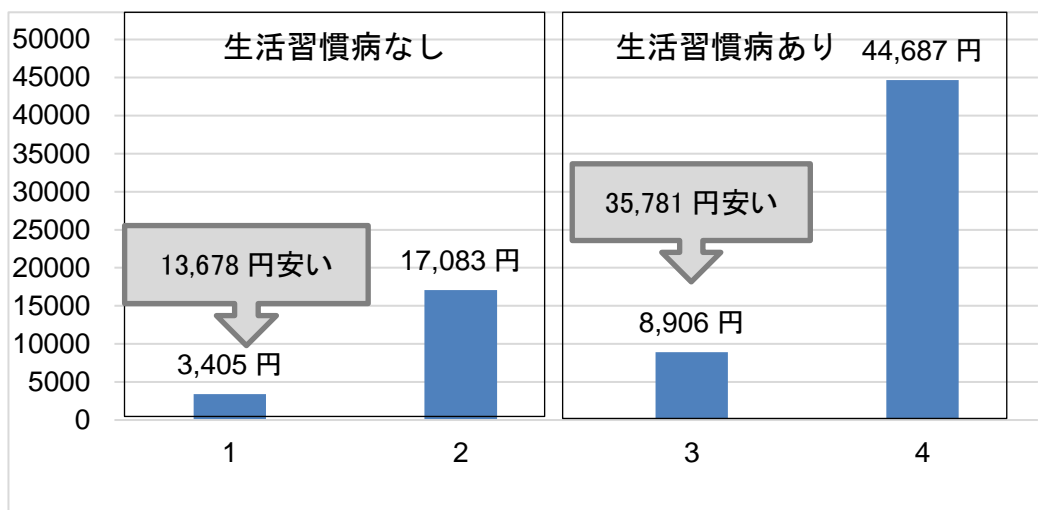
男女ともに、40～59歳までの世代の健診受診率が低い傾向にあります。自覚症状がなくても油断できません。若いうちから健診を受診しましょう。

ウ 特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移



特定健診受診率は年々低下している一方で、特定保健指導受診率はR2年度に増加しています。

(2) R2年 健診受診者と未受診者の1か月1人あたりの医療費の違い



健診受診者と未受診者の医療費を比較すると、生活習慣病がない場合でも大きな差があります。健診を受けると、重症化する前に対策がとれるため、医療費の節約にもつながります。

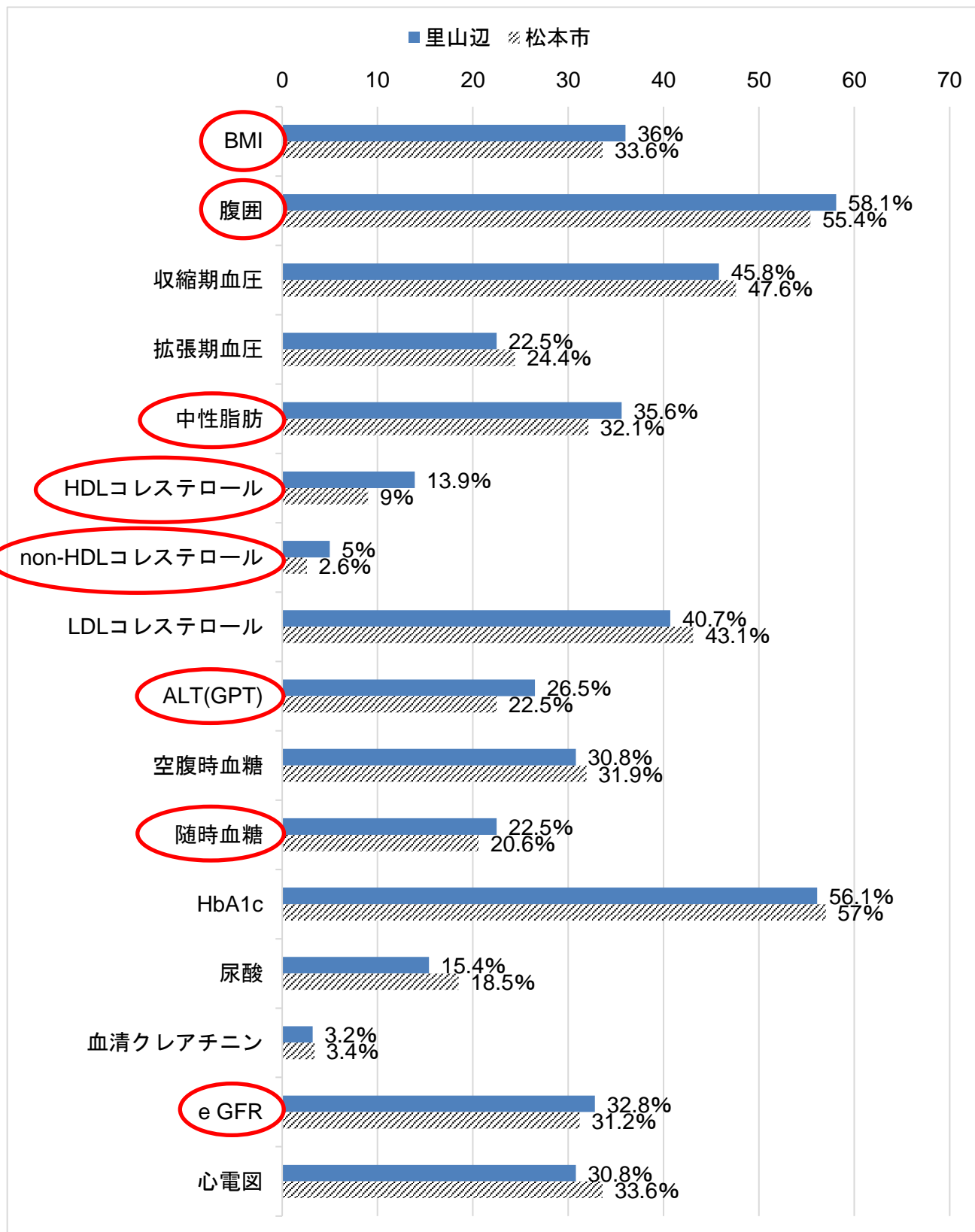
【参考】

特定健診で分かること

検査項目	分かること
BMI	身長と体重のバランス。肥満度が分かります。
腹囲	内臓脂肪の蓄積が分かります。
収縮期血圧	血管にかかる圧力が分かります。
拡張期血圧	
中性脂肪	血液中に含まれる脂質の量から、動脈硬化の危険度などが分かります。
HDL コレステロール	
non HDL コレステロール	
LDL コレステロール	
ALT(GPT)	肝臓の機能が分かります。
空腹時血糖	糖尿病の危険度が分かります。
随時血糖	
HbA1c	
尿酸	血液中に含まれる尿酸の量から、高尿酸血症(痛風発作など)の危険度がわかります。
血清クレアチニン	腎臓の機能が分かります。
e GFR	
心電図	心臓の機能が分かります。

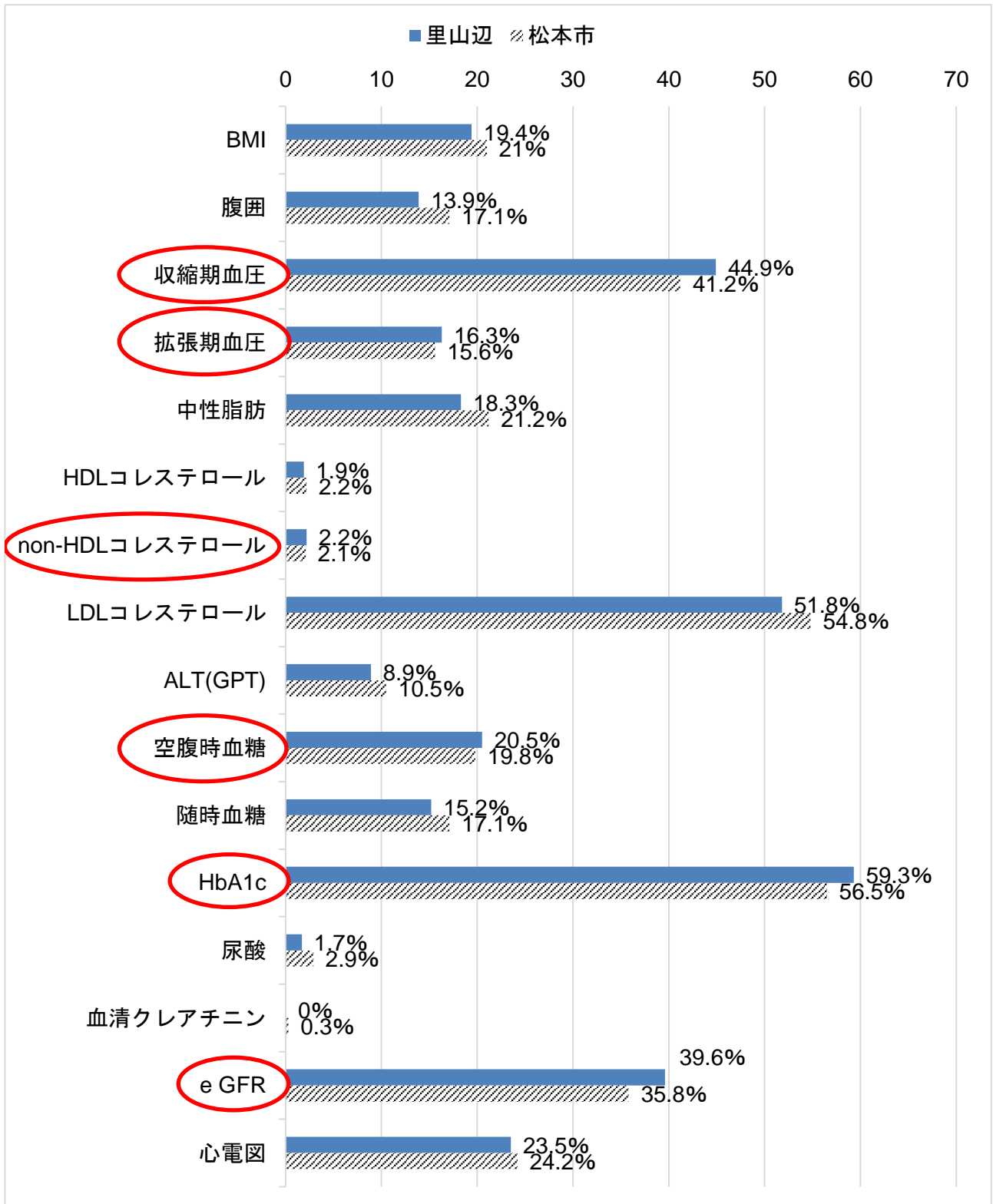
(3) R2年 健診受診者の有所見率

<男性>



男性は主に BMI と腹囲、脂質異常症に関する項目割合が全市より高いです。また、糖尿病指標の一つである HbA1c の割合も全市と共に高い傾向です。腹囲の有所見者が多いことは、内臓脂肪が蓄積されている方が多いことを示します。これが原因となり、動脈硬化の進行、糖尿病、高血圧、脂質異常症を招きます。

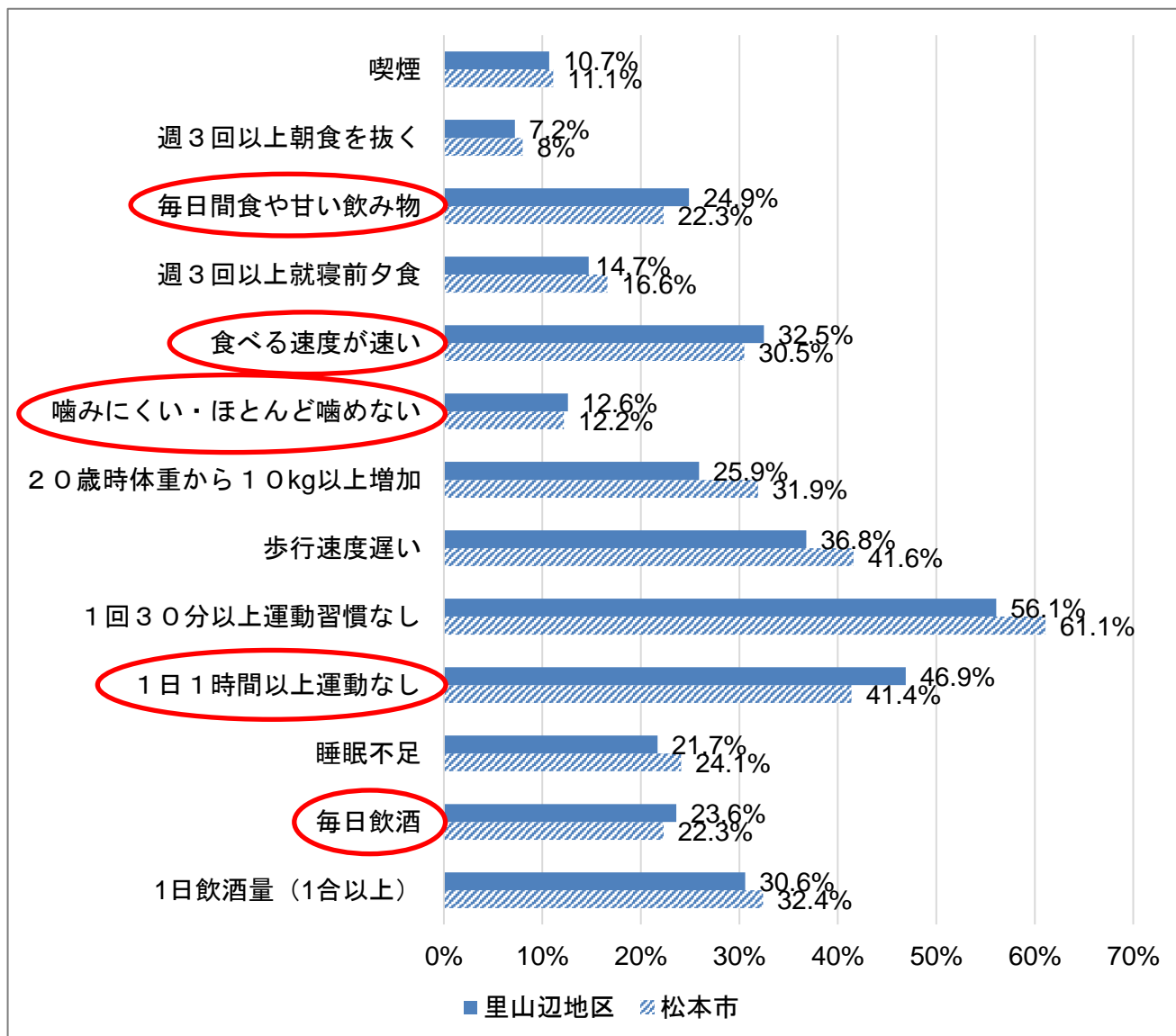
<女性>



女性は、高血圧と糖尿病関連、腎機能の項目が全市より高い傾向です。血圧は、更年期以降になると女性ホルモンが減少するため高血圧が増加すると言われています。しかし、ホルモン以外にも生活習慣の原因も考えられます。特に血糖値には注意が必要です。高血糖状態が続くと、血管が脆くなり、動脈硬化につながります。そのまま進行すると、「糖尿病腎症」という高血糖が原因で腎機能が低下するリスクが高くなります。腎臓は体内の水分バランスを調整する機能があるため、水分バランスが乱れ、高血圧にもつながります。

(4) R2年 生活習慣の状況

ア 好ましくない生活習慣



食生活では、「毎日間食や甘い飲み物」、「食べる速度が速い」の項目が高く、血糖値上昇に加え、肥満につながる可能性があります。また、運動習慣のない方が多いため、余分なエネルギーが脂肪に蓄積されてしまいます。

3 まとめ

地区の健康課題として、男性では腹囲と脂質の改善、女性では高血圧と腎機能の改善、そして男女ともに血糖値の改善が挙げられます。特に、HbA1cの値に関しては、受診者の半数以上が有所見者に該当しているため、将来的に糖尿病や動脈硬化につながる恐れがあります。内臓脂肪を減らすこと、血糖値を正常範囲内に留めることを意識し、食生活の見直しや運動習慣を身に付けて予防することが大切です。

5 JAGES（暮しと健康の調査）結果

JAGES（日本老年学的評価研究）は、健康長寿社会をめざした予防政策の科学的な基盤づくりを目標とした研究プロジェクトです。全国40の市町村と共同し、30万人の高齢者を対象に調査し、全国の大学・国立研究所に所属する研究者が多面的な分析を進めています。

松本市は2016年（平成28年）、2019年（令和元年）の2回実施しています。ここに掲載するデータは、2019年の調査結果です。

松本市の調査概要

調査期間 : 令和元年11月～12月
 調査対象者 : 令和元年4月1日時点で65歳以上である要介護認定を受けていない高齢者（ただし要支援を含む）
 対象者数 : 7,000人（里山辺地区244人）
 回収率 : 5,357票(77.1%) 里山辺地区177票(72.5%)

(1) 運動機能

スポーツの会参加者が多い割に、後期高齢者や女性において1年間の転倒あり割合、運動機能低下者割合及び要介護リスク者の割合が高くなっています。

前回調査より特に女性の機能低下が顕著です。

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	(市内順位)	
				男性	女性
運動機能低下者割合	24	18	32	1	31
1年間の転倒あり割合	35	15	35	18	35
30分以上歩く者の割合	20	24	22	8	32
IADL(自立度)低下者割合	14	15	19	7	26
要介護リスク者割合	14	8	31	7	22
スポーツの会参加者(月1回以上)割合	7	1	22	4	12

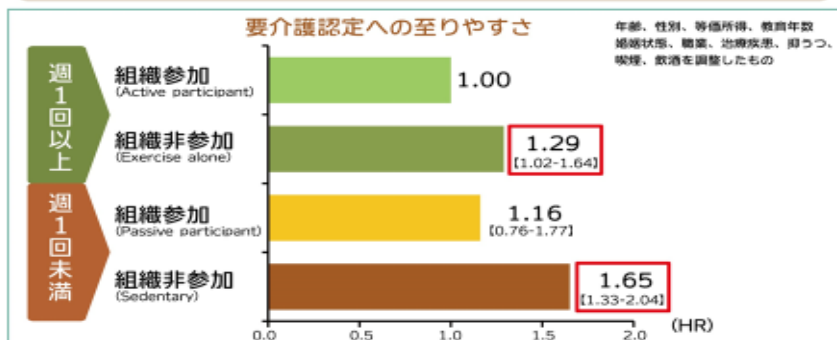


専門職向け/住民向け

スポーツはグループで行った方が良さそう

頻繁に運動していてもスポーツ組織に参加していない人は要介護に至りやすい可能性あり。

⇒頻度が少なくても組織参加者は有意にならない

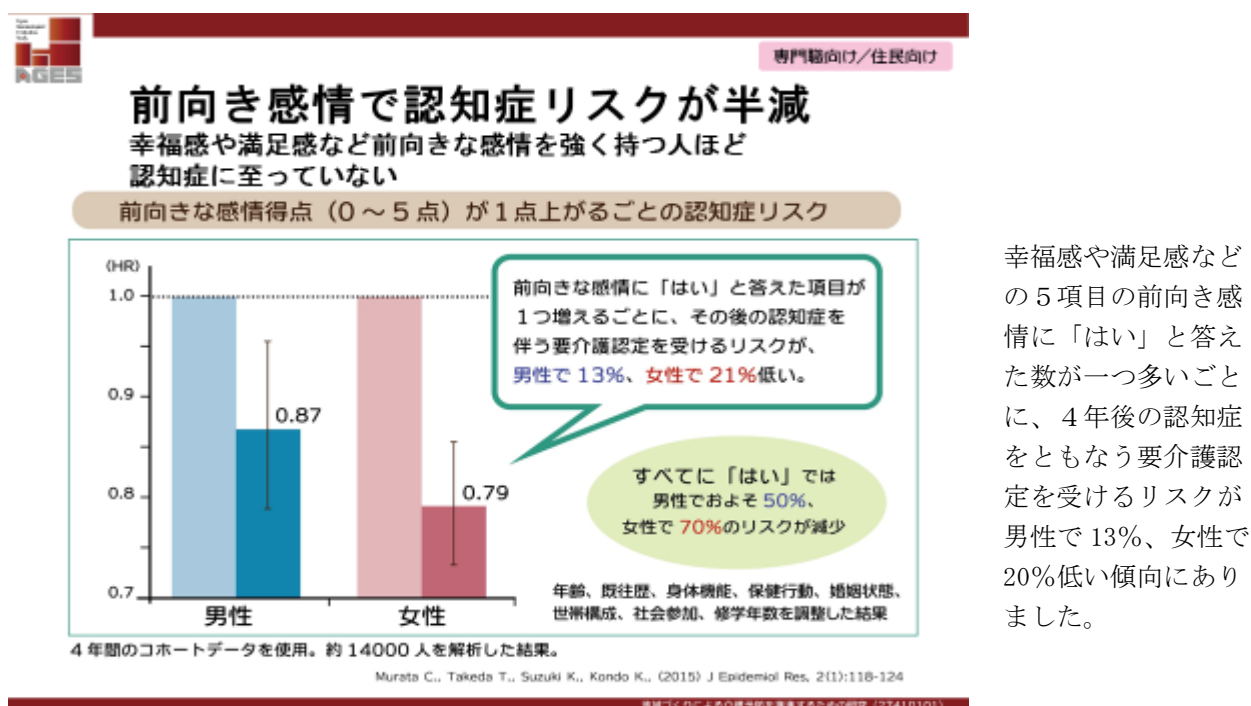


スポーツのグループに参加して運動を週1回以上行っている人と比べて、グループに参加せずに運動もしていない人は1.65倍、グループに参加せずに運動を週1回以上行っている人でも1.29倍要介護認定へ至りやすくなります。

(2) 認知症リスク

前期高齢者や男性は認知症リスク割合が低いですが、後期高齢者や女性が認知症リスク・物忘れが多い者の割合が高くなっています。特に前回調査より女性の認知症リスク・物忘れが多い者の割合が高くなっています。

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	(市内順位)	
				男性	女性
認知症リスク者割合	16	1	21	4	28
物忘れが多い者の割合	17	22	18	14	21



(3) 地域への関わり

男性はボランティア参加者割合が高いですが、グループ活動への参加意向がある者の割合は少ない状況です。前回調査でも男性のグループ活動への参加意向は少ない状況でした。

一方、女性はボランティア参加者の割合は低いですが、特技や経験を他者に伝える活動参加者は高いという状況です。

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	(市内順位)	
				男性	女性
ボランティア参加者(月1回以上)割合	18	16	20	11	26
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	9	5	15	18	6
グループ活動へ参加意向がある者の割合	19	19	20	29	11
グループ活動(企画、運営)参加意向がある者の割合	17	16	14	12	20

(4) 身体状況

後期高齢者や女性は低栄養者の割合が高く、また、男性はやせている人や残歯数19本以下の人が多くなっています。

(市内順位)

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	男性	女性
低栄養者割合	26	18	31	18	25
BMIが18.5未満の者の割合	24	28	15	34	7
肥満(BMI25以上)者割合	19	23	8	7	29
口腔機能低下者割合	22	21	17	22	20
残歯数19本以下の者の割合	26	29	25	32	19
独居者割合	7	9	6	12	7
孤食者割合	6	9	10	20	5

(5) 心理状態

幸福感がある者の割合が高くなり、前回調査から改善されました。

また、女性の笑う者の割合が前回調査より低下したため、女性の主観的健康感が良い者の割合も低くなっています。

前期高齢者ではポジティブな人が多いけれど、後期高齢者になるとネガティブな人が多くなっています。

(市内順位)

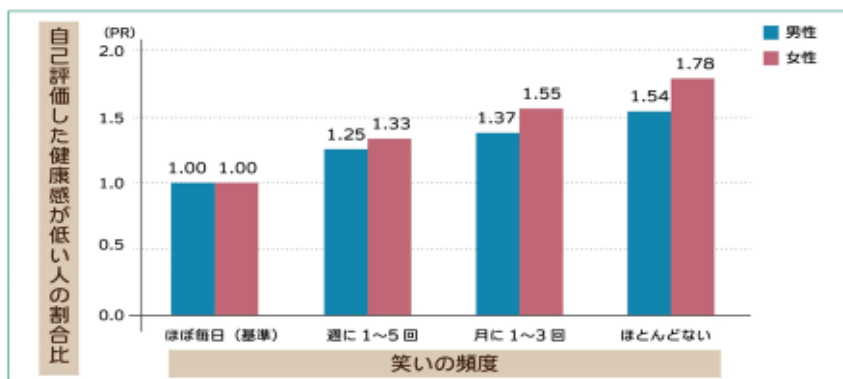
項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	男性	女性
幸福感がある者の割合	6	1	26	19	4
笑う者の割合	23	21	26	28	18
うつ割合(ニーズ調査)	5	4	18	11	9
主観的健康感が良い者の割合	30	18	33	7	34
ポジティブ感情がある者の割合	8	3	26	19	8

専門職向け/住民向け

笑わない人は健康度の低い人が1.5倍以上多い

ほぼ毎日笑う群に比べて、ほとんどない群では、女性で約1.8倍、男性で1.5倍健康度自己評価が悪い傾向。

笑いが全般的・精神的な健康を向上させるのに有用である可能性を示唆。



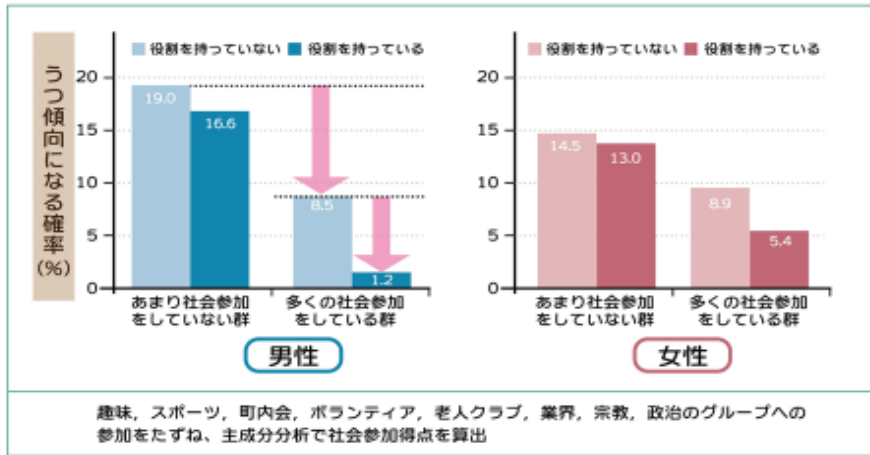
横断調査データを使用。約20000人を解析した結果。

Hayashi K., Kawachi I., Ohira T., Shirai K., Kondo N., et al. Journal of Nervous and Mental Disease.

笑いの頻度が「ほぼ毎日」の人と比較して、「ほとんどない」人は、男性では1.54倍、女性では1.78倍、健康度自己評価が「良くない」という状態になりやすいです。

男性はうつ発症リスクが7分の1

AGES 2003年調査時点でうつ傾向が無く、2006年調査にも回答した65歳以上の2728人



「多くの社会参加をしている人」は「あまり社会参加していない人」に比べ、男女ともに3年間で新たにうつ傾向になる確率が低いことが明らかになっています。

Takagi, D., Kondo, K., & Kawachi, I. (2013). BMC Public Health, 13: 701. doi: 10.1186/1471-2458-13-701.

高齢づくりによる介護負担を軽減するための研究 (27410101)

(6) 健康状態

前回調査と同様女性は閉じこもり者の割合が高く、喫煙者の割合も高い状況で、特に男性の喫煙者は多かったです。

また、健診未受診者は前回調査と同様後期高齢者の割合が高くなっています。

(市内順位)

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	男性	女性
閉じこもり者割合	21	12	24	8	27
喫煙する者の割合	33	29	20	34	17
健診(1年以内)未受診者割合	19	14	27	24	20

(7) 防災関係

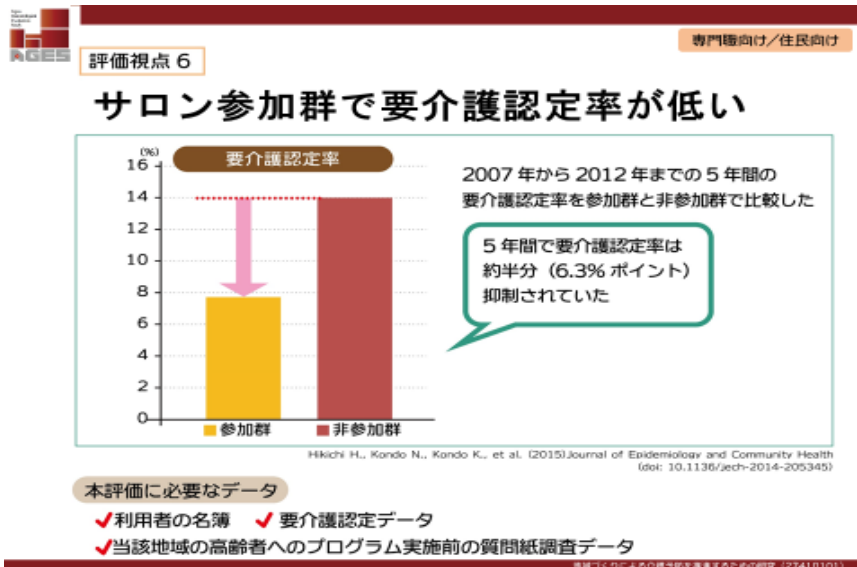
前回調査ではない項目でしたが、避難場所・経路把握の割合、災害時の助け合い話のある者の割合や地震保険加入者の割合が低いという状況です。

後期高齢者になると定期的に声掛け・訪問をしてくれる人やする人の割合が高くなっています。

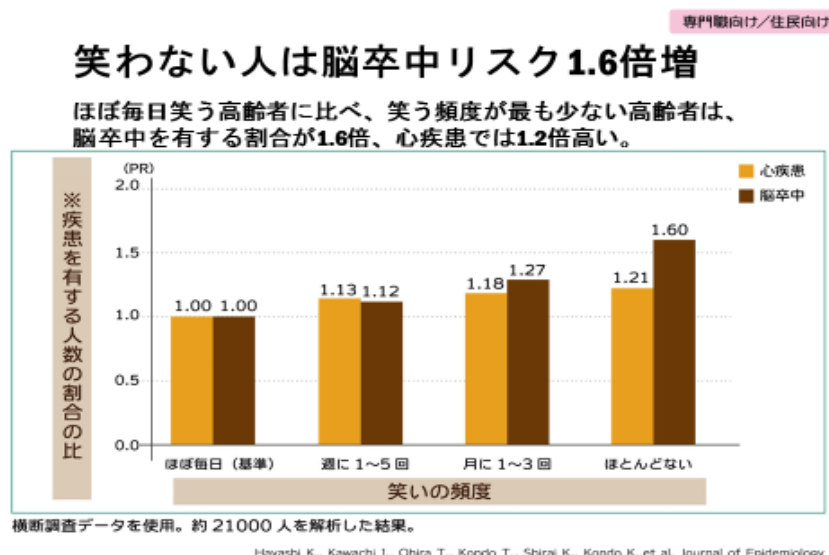
(市内順位)

項目	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	男性	女性
水・食料備蓄4日分以上の割合	28	27	30	25	27
家具固定の割合	30	28	22	33	19
地震保険加入者割合	30	33	23	35	11
避難場所・経路把握の割合	27	30	22	26	22
災害時の助け合い話のある者の割合	33	31	29	35	16
定期的に声掛け・訪問してくれる割合	13	21	1	7	24
定期的に声掛け・訪問する人の割合	16	25	1	19	8
地域の人に頼ることに抵抗がある者の割合	28	28	19	30	23
地域の人に頼りにされることに抵抗がある者の割合	13	15	8	5	22

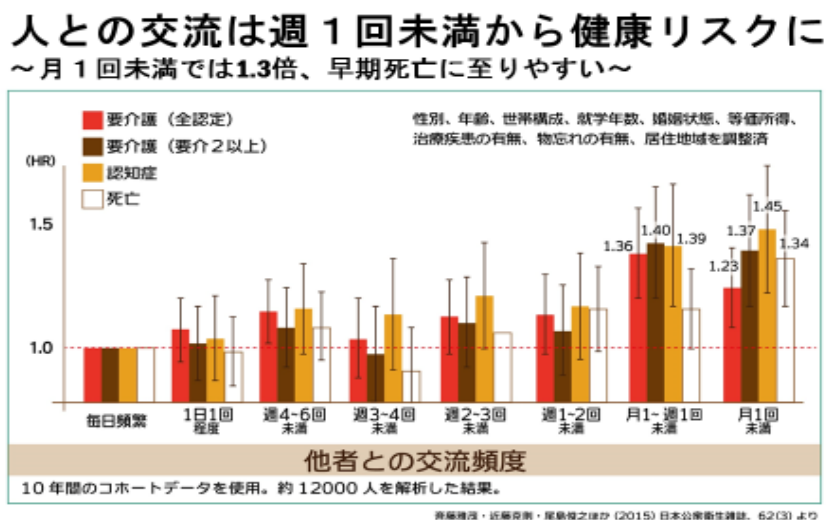
(8) 参考資料



月に1回程度行われている高齢者サロンに参加している人たちは、非参加者と比べて、要介護になる比率が約半分に抑制されていました。



笑いの頻度が「ほぼ毎日」の人と比べ、「ほとんどない」人は、脳卒中を有する割合が1.6倍、心疾患は1.2倍高い傾向にありました。「笑い」も健康な社会生活に欠かせないということが分かりました。



人との交流頻度が乏しかった人ほど、その後の要介護や認知症、死亡に至っている人が多いということが分かりました。

6 主な施設等

(1) 地区内の医療施設、介護施設、店舗

施設名	施設の機能等
谷川整形外科クリニック(里山辺 12090-1、北小松)	外科医院
山辺温泉花岡整形外科(里山辺 1140-1、湯の原)	外科医院
金井医院(里山辺 3083、兎川寺)	内科医院
小林内科医院(里山辺 1556-6、新井)	内科医院
久根下歯科医院(里山辺 3275、荒町)	歯科医院
坂下歯科医院(里山辺 1561-6、新井)	歯科医院
小澤整骨院(里山辺 4286-14、西小松)	整骨院
あおい薬局(里山辺 12090-2、北小松)	薬局
湯の原スズラン薬局(里山辺 1156-1、湯の原)	薬局
松本市東部地域包括支援センター (里山辺 910-1、藤井)	包括支援センター
あかぎ居宅介護支援事業所(里山辺 1840-1)	居宅介護支援事業所
アクア松本 (里山辺 104-2、)	住宅型有料老人ホーム ヘルパーステーション 訪問看護ステーション
うつくしがはら温泉敬老園 (里山辺 67-1、湯の原)	住宅型有料老人ホーム ショートステイ デイサービスセンター ヘルパーステーション 居宅介護支援事業所
うつくしの里 (里山辺 910-1、藤井)	介護老人福祉施設 ショートステイ デイサービスセンター ヘルパーステーション 居宅介護支援事業所
かがやきデイサービスあがたの森 (里山辺 12087-1、北小松)	デイサービスセンター
かがやきデイサービス晴の家 (里山辺 1401、下金井)	デイサービスセンター
居宅介護支援事業所 樹下夢(里山辺 129-1)	居宅介護支援事業所

施設名	施設の機能等
グループホーム サンライズ里山辺 (里山辺 494-3、藤井)	グループホーム
里山辺の杜(里山辺 76-1、湯の原)	サービス付き高齢者向け住宅 地域密着型特定施設(介護付き有料)
サングリーン藤ヶ原(里山辺 1832-2、藤井)	介護付き有料老人ホーム
デイサービスセンターしゃらのき (里山辺 1549-1、新井)	デイサービスセンター
デイサービスセンターたのしや (里山辺 1832-1、新井)	デイサービスセンター
なごやかレジデンスあがたの森 (里山辺 12087-1、北小松)	サービス付き高齢者向け住宅
訪問看護ステーションめぐみ(里山辺 67-1)	訪問看護ステーション
ほっと・はあとヘルパーステーション里山辺 (里山辺 1294-1、下金井)	ヘルパーステーション
まごのて (里山辺 130-1、湯の原)	住宅型有料老人ホーム ヘルパーステーション デイサービスセンター
むつみの郷里山辺(里山辺 1294-1、下金井)	住宅型有料老人ホーム
ラポール訪問介護事業所、 エージェレス湯の原 (里山辺 17322-1、湯の原)	ヘルパーステーション 住宅型有料老人ホーム
小岩井商店(里山辺 4790、林)	雑貨、クリーニング
セブンイレブン 里山辺店 (里山辺 1421-1、下金井)	コンビニエンスストア
リカーズ・モモセ(里山辺 4124-2、北小松)	酒屋、雑貨

(2) 地区内の公共施設

機 関 名	機 関 名
里山辺保育園	里山辺体育館
山の子保育園	松本民芸館
山辺中学校	山辺児童センター
エクセラン高等学校	松本警察署 惣社交番
里山辺地区地域づくりセンター	J A松本ハイランド 山辺支所
里山辺公民館	里山辺郵便局
里山辺地区福祉ひろば	兔川寺簡易郵便局
教育文化センター	松本広域消防局本郷消防署 山辺出張所
旧山辺学校	東部地域包括支援センター

7 各種団体

(1) 里山辺地区町会連合会

町会相互の連携・調整と住民福祉の向上及び市政の運営に協力することを目的として活動しています。月1回定例会を開催。

(2) 里山辺地区町会公民館長会

各町会における公民館活動の振興を図るため、各町会相互間の連絡を密にするとともに必要な研修を行い、社会教育の発展に寄与することを目的として、隔月での定例会及び年1回の研修会を開催しています。

(3) 民生児童委員協議会

社会奉仕の精神をもって、相談と必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めています。月1回の定例会を開催。

(4) 里山辺地区まちづくり協議会

地域における課題の解決を図ることを目的に、地域住民自身が元気で、安心して、生きがいを感じながら暮らせる住みよい地域づくりに寄与しています。

(5) 松本市社会福祉協議会里山辺支会

松本市社会福祉協議会の事業に協力し、地区の社会福祉活動の推進を図っています。

(6) 里山辺地区健康づくり推進員会

地域住民の健康増進を図るため自主的な組織活動として、地域住民の要望に沿った保健福祉活動を実施しています。定例会は年6回。※令和4年度で廃止予定

(7) 里山辺地区環境衛生協議会

地区住民の理解と協力により健康で明るく住みよい社会を築くことを目的として、衛生思想向上の普及徹底、保健衛生事業、清掃活動、資源の再利用運動等を実施しています。

(8) 日赤奉仕団里山辺分団

赤十字奉仕団の信条に基づき事業を実施。社会福祉協議会が実施する地域見守り活動のほかに、日赤乳児院及びデイサービスでの奉仕活動を実施しています。

(9) 里山辺子ども会育成会

地区の子どもの健全なる育成並びに福祉を増進するための事業を実施しています。

(10) 里山辺地区福祉ひろば事業推進協議会

里山辺地区福祉ひろば事業の企画・運営活動により、「共助のひろば」として、地区の保健福祉活動等の推進と浸透を図っています。

(11) 里山辺花いっぱいボランティア

里山辺地区内で針塚古墳を中心に花づくりを通して、地区を明るく美しくする活動を行っており、協同作業を通して、花づくりの精神を広めています。

(12) 里山辺地区自主防災連合会防災部

地区における防災意識の高揚をはかり、あらゆる災害に備えた自主防災体制の確立を進めています。

(13) 里山辺地区防犯協会

地区内における防犯意識の高揚及び防犯活動をとおして、安全で住みよい地域社会の実現を推進しています。

(14) ボランティア部会

ボランティア活動により、ふれあい会食会などの社会福祉協議会里山辺支会の事業達成に協力するとともに、地区内の行事などで独自のボランティア活動を行っています。

(15) 交通安全協会里山辺支部

地域住民の交通安全意識を高め、推進機関・団体が連携して交通安全対策を推進しています。

(16) 山辺地区開発促進協議会

入山辺地区と一緒に山辺地区の開発、発展の円滑なる推進を行っています。

(17) イクジィ会

里山辺保育園の草刈り剪定などの環境整備、野菜作りの手伝い、園行事(焼き芋会・餅つき大会)の手伝い。また、児童センターの草刈り剪定などの環境整備、行事などに年5～6回参加している高齢者組織。

8 通いの場

※地区内の福祉ひろば、サロン、カフェ、公民館・運動サークル等の情報を記載します。

(1) 里山辺地区福祉ひろば

区分	名称	実施日	
ひろば事業	ふれあい健康教室	第2水曜日	午後1:30～
	さと健	第2金曜日	午前9:30～
	のびのびヨガ	第1水曜日	午後2:00～
	喫茶憩いの森	3か月に1回	午前10:00～
	ゆったり健康体操	第4木曜日	午前9:30～
	男の健康講座	3か月に1回	午後1:30～
	いきいき健康ひろば	第1火曜日	午前9:00～
	ニコニコキッズ	4か月に1回	午前10:00～
	ベビーマッサージ	年に2回	午前10:00～
ひろばサークル	民謡を踊る会	第1月曜日	午後1:30～
	折り紙	第2木曜日	午前9:30～
	スクエアダンス	第1、3金曜日	午前10:00～
	マージャンクラブ	毎週火曜日	午後1:00～
	ハーモニカサークル	第1、3金曜日	午後1:30～
	歌って動こう会	第3木曜日	午後1:00～
	墨の会	第2、3火曜日	午前9:30～
	囲碁クラブ	毎週火曜日	午後1:00～
	手編みの会	第2、4月曜日	午前9:30～
	スポーツ吹き矢	第2、4水曜日	午前10:00～
	てまり	第3木曜日	午前9:30～
	絵手紙	第1月曜日	午前10:00～
	カラオケクラブ	第1、2、4木曜日	午後1:00～
	女性のマージャン	第2、4金曜日	午後1:30～
	花みずきの会	第4火曜日	午前10:00～ ※3月末解散予定
	スポーツボイス	第1、2、4木曜日	午後3:30～

(2) 里山辺公民館サークル活動、スポーツ活動

名称	実施日		
あすなろ(蕎麦打ち)	毎週金曜日	午前9:30～	(会費)
彩の会(体操・歌)	第2、4水曜日	午前10:00～	(会費)
ヴィクトワール(バレーボール)	不定期	午後5:30～	(会費)
美ヶ原そば会	第1、3土曜日	午前9:00～	(材料費)
書く会(毛筆・ペン字)	第2、4火曜日	午前9:00～	(テキスト代他)
花耀句会(俳句)	第2、4火曜日	午前9:00～	(会費)
里山辺ゲートボール協会	不定期	午後1:00～	(会費)

名称		実施日
里山辺地区親睦ゴルフ実行委員会	不定期	午後2:00～ 午後6:00～ (会費)
里山辺童謡唱歌をうたう会	第2、4木曜日	午後1:30～
里山辺ナイターソフトボールリーグ	不定期	午後6:00～ (会費)
里山辺マレットゴルフ同好会	第2、4火曜日	春秋季 午後1:00～ 夏季 午前8:30～(会費)
少林寺拳法	不定期	午後7:00～ (会費)
清流会 (剣舞・詩舞)	不定期	午後6:00～ (会費)
全日本写真連盟松本フォトクラブ	第3木曜日	午後6:30～ (会費)
中信健康友の会 里山辺支部	不定期	(会費)
にこさと (いきいき百歳体操)	毎週火曜日	午前10:00～
日本吟詠学院清流会山辺教室(詩吟)	毎週木曜日	午後7:00～ (会費)
春霞の会 (蕎麦打ち)	毎週水曜日	午前9:00～ (会費)
松本読書会	不定期	
松本東サッカースポーツ少年団	不定期	午前9:00～ (会費)
松本リーグ・東	不定期	(会費)
民謡をたずねて (歌・楽器)	第2金曜日	午前9:30～
山辺扇の会 (体操)	第4水曜日	午前9:30～ (会費)
やまべ気功体操	第1、2、3水曜日	午前9:30～ (会費)
山辺歴史研究会	不定期	午後1:30～ (会費)
ゆらりん	毎週金曜日	午後2:00～ (会費)
雨坊主 (レインボーズ)	第3日曜日	午後1:00～ (会費)

(3) 里山辺地区各町会の通いの場

町会	名称	実施日
下 金 井	あすなろ会	不定期
	詩吟	月2回 午後7:00～
	蕎麦打ち同好会	第1土曜日 午後2:00 終了後飲み会 会費1,000円
	女性の会	不定期
	太極拳	月1回 午後7:00～
	マレットゴルフ	月1回 中山・アルプス公園他
	百歳体操サークル	毎週金曜日 公民館
	ゴルフ	月1回
	卓球	月1回 第2水曜日 公民館
新 井	ゲートボールの会	毎日 午前8:00～ 町会子ども広場
	のぎくの会	第1、3水曜日 午前9:30～ (ストレッチ・筋力アップ体操) 1回200円
	スポーツ吹き矢	第2、4火曜日 午前10:00～

町会	名称	実施日
新井	カラオケ	毎週月曜日 午前10:00～
	習字	第1、2月曜日 午後5:30～ <休止中>
	生け花	第2、4水曜日 午後2:00～
湯の原	いきいき百歳体操	毎週火曜日 午前10:00～
	押し花教室	毎月末日曜日 午後1:00～
	湯の原民謡クラブ	毎週月曜日 午後7:00～
藤井	いきいき百歳体操	毎週月曜日 午前10:00～ 第2公民館
	ゴルフ	月1回(1月～2月冬期休み) 月1回コースラウンド
	ゲートボール	不定期 ゲートボール場
	マレットゴルフ	不定期 中山・アルプス公園等
	詩吟	毎週 午後7:00～ 第1公民館
上金井	いきいき百歳体操	毎週火曜日 午前9:30～
	長寿会	不定期
	サロン	年3回(10、12、3月)
	ゲートボール	地区のリーグ戦のみ ゲートボール場
	太極拳	毎月1回 午後7:00～
	ソフトバレー	不定期 里山辺体育館
薄町	いきいきサロン	月1回 午後1:30～
	ゴルフ	年2回コースラウンド
	カラオケ	第2、4日曜日 午後7:00～
	ゲートボール	毎週金曜日 午前 ゲートボール場
荒町	高齢者クラブ	毎月最終金曜日 午後1:30～
	マレットゴルフ	不定期(年間4試合) 中山
	ゲートボール	不定期 ゲートボール場
	いきいき百歳体操	毎週金曜日 午前10:00～
兔川寺	なんとなく集まる会	毎月最終土曜日 会費なし
	陽だまりサロン	不定期 1回100円
西荒町	長寿会	第3金曜日 午前11:00～
	ゲートボール	不定期 ゲートボール場
	ソフトバレー	不定期 里山辺体育館
	いきいき百歳体操	毎週水曜日 午前10:00～
北小松	ふれあい楽語会	第3水曜日 午後1:30～ 1回100円
	いきいき百歳体操	毎週水曜日 午後1:30～(第3のみ午後3:30～)

町会	名称	実施日
西小松	マレットゴルフ	第1土曜日、第3火曜日
	カラオケサークル	第2、4水曜日 午後2:00～ <休止中>
	生け花教室	第2、4月曜日 午後1:00～
	ソフトバレー	毎週木曜日 午後7:30～ 源池小体育館
	健康体操クラブ	第2、4金曜日 午後1:00～
	卓球クラブ	毎週金曜日 午後7:30～
林	いきいき百歳体操	毎週木曜日 午前10:00～ (年会費1,000円)
	マレットゴルフ	月2回 中山等
	ゲートボール	月2回 町会ひろば
	ゴルフ	年2回春、秋コースラウンド
美里町	民謡の会	第2・4木曜日 午後2:00～
	太極拳の会	毎週水曜日 午前9:30～
	マレットゴルフの会	不定期 午後1:00～ 市内外
	卓球	不定期
	バレー	不定期 里山辺体育館
	ゲートボール	不定期 ゲートボール場
若里町	いきいき百歳体操	毎週土曜日 午前10:00～ 月100円 終了後サロンあり
小松町	コマケン (小松町健康教室)	毎週月・水曜日 午後5:50～6:50
	マーじゃん	毎週土曜日 午後1:30～
	マレットゴルフ	月1回 会費500～1,000円 中山、アルプス公園、空港等
	談話室	第3水曜日 午後6:00～
	いきいき百歳体操	毎週水曜日 午前10:00～

(4) 介護保険事業所のサロン活動

ア かがやきデイサービス晴の家

名称	実施日
芽ぶきの会 (小物づくりの会)	第3日曜日 午前10:00～ 費用:材料費
健康麻雀の会	第3日曜日 午後1:00～
ふれあい茶話会	隔月(偶数月)第2日曜日午後12:00～ 会費300円

9 介護保険・生活支援サービス

※地区内で利用可能な生活支援サービスの提供者

提供者	内容
アクア松本訪問介護 (87-8044)	訪問介護 (ホームヘルプサービス)
うつくしの里ホームヘルプステーション (39-2244)	
うつくしがはら温泉敬老園 ヘルプステーション (37-1167)	
ほっと・はあとヘルプステーション里山辺 (34-6032)	
介護タクシー和 (080-6938-0294)	外出支援 月～金
アルピコタクシー (配車センター75-1181)	外出支援 年中無休
松本市社協 「つむぎちゃんサポート」 (地区生活支援員 070-8684-8035)	有償生活支援 ※事前登録制 (家事、外出、ゴミ出し)

10 都市構造可視化分析データ

<概要>

目的： 住民基本台帳データ等をGIS上に展開し、医療、福祉、商業、交通といった各種施設の位置情報と重ねて、都市構造を可視化し、分析するもの。

業務範囲： 松本市全域

業務期間： 平成30年6月4日～平成31年3月22日

<用語・分析基準等の定義> (全項目共通)

住基ポイント(現存者)： 住民基本台帳(H30.10.1)

高齢者： 65歳以上(里山辺地区総数3,248人、里山辺地区一人暮らし総数824人)

高齢世帯： 世帯人員が65歳以上の人のみで構成される世帯(里山辺地区総数1,435世帯)

子ども： 14歳以下(個別の定義のある場合を除く)

半径500m徒歩圏： 「都市構造の評価に関するハンドブック」(国土交通省:H26.8)で高齢者の一般的な徒歩圏として示されている半径500mを採用。

(1) 年齢3区分人口

地区内居住人口	年齢3区分			合計 (総数)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)
	0~14	15~64	65以上			
人口	1,722	7,049	3,248	12,019	10.2	1,178
市全体	31,682	141,882	66,131	239,695	2.4	97,847

(2) 転入転出状況 (H26.10.1~H27.9.30)

転入	里山辺地区	市全体
市内他地区から	401	2,773
市外から	413	9,474
合計	814	12,247

転出	里山辺地区	市全体
市外他地区へ	333	2,712
市外へ	382	9,588
合計	715	12,300

増減者数	里山辺地区	市街化区域
市内移動	68	-144
市外移動	31	108
合計	99	-36

<参考>

同一地区内の異動	
里山辺地区	180

里山辺地区への転入が多い地区

(庄内 70人、本郷 62人、岡田 26人、鎌田 25人、第3 22人)

里山辺地区からの転出が多い地区

(庄内 55人、本郷 37人、鎌田 23人、第3 21人)

(3) 商業施設の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	商業施設			総数に占める割合	(参考) 買物不便	市全体の割合
	スーパー	コンビニ	スーパー・コンビニ			
人口	2,397	4,790	5,158	42.9%	6,861	70.1%
高齢者人口	602	1,221	1,306	40.2%	1,942	65.1%
1人暮らし高齢者人口	173	291	317	38.5%	507	69.3%
高齢者世帯数	290	530	570	39.7%	865	68.0%

※ 徒歩圏は、「スーパー」、「コンビニ」ともに半径500mとする。

※ 「合計」は、「スーパー」及び「コンビニ」のいずれかの徒歩圏に含まれる世帯とする。

※ 「合計」は、各徒歩圏の重複があるため、「スーパー」、「コンビニ」の値と一致しない。

(4) 公共交通の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	バス停 サービスレベル			総数に占める割合	(参考) 交通不便	市全体の割合
	高	中以上	考慮なし			
人口	4,486	4,486	7,411	61.7%	4,608	81.4%
高齢者人口	1,285	1,285	2,101	64.7%	1,147	81.4%
1人暮らし高齢者人口	391	391	573	69.5%	251	83.1%
高齢者世帯数	623	623	967	67.4%	467	82.5%

※ 徒歩圏は、「鉄道：半径1km」（里山辺地区非該当）「バス停：半径300m」とする。

※ サービスレベルの「高」は、バスの平日1日片道平均本数が30本以上の停留所。

「中」は、同本数が10～29本の停留所。

「低」は、バスの平日1日片道平均本数が9本以下の停留所。

※ 「中以上」は、「高」及び「中」のいずれかの徒歩圏域に含まれる人口とする。

(5) 医療施設の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	年齢区分				総数に占める割合	(参考) 医療不便	市全体の割合
	0～14	15～64	65以上	合計			
人口	1,143	4,592	1,972	7,707	64.1%	4,312	63.4%

※ 医療施設は、内科を有する病院及び診療所とする。

※ 徒歩圏は、半径500mとする。

(6) 通所系介護施設の誘致圏カバー状況

誘致圏居住	介護施設	総数に占める割合	(参考) 介護施設不便	市全体の割合
人口	11,330	94.3%	689	85.4%

※ 通所系介護施設は、デイサービスを対象とする。

※ 誘致圏は、半径1kmとする。

(7) 子育て施設の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	子育て施設			総数に占める割合	(参考) 子育て施設不便	市全体の割合
	保育園・認定こども園	幼稚園	合計			
子ども人口	207	0	207	30.5%	471	47.0%

※ 「子ども人口」は0歳～5歳の人口とする。(里山辺地区子ども人口総数678人)

※ 「保育園」には「認定こども園」を含む。

※ 「合計」は、「保育園」及び「幼稚園」のいずれかの徒歩圏内に含まれる人口とする。

※ 徒歩圏は、半径500mとする。

(8) 公園の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	年齢区分				総数に占める割合	(参考) 公園不便	市全体の割合
	0～14	15～64	65以上	合計			
人口	1,488	6,115	2,594	10,197	84.8%	1,822	73.0%

※ 公園は、都市公園(松本市都市公園条例)及び児童遊園(松本市児童遊園条例)とする。

※ 徒歩圏は、半径500mとする。

(9) 空き家棟数 (H26年度ゼンリン住宅地図更新時の現地調査の外観目視で判断した建物。)

区分	空き家棟数
里山辺地区	155
市全体 総計	2,894

(10) 土砂災害警戒区域内人口

区域内居住	土砂災害警戒区域			総数に占める割合	市全体の割合
	特別警戒区域	警戒区域	合計		
人口	54	2,069	2,123	17.7%	7.2%
高齢者人口	20	681	701	21.6%	9.8%

※ 「警戒区域」の人口集計は、「特別警戒区域」を除いた範囲とする。

(11) 浸水想定区域内人口

区域内居住	浸水想定区域						総数に占める割合	市全体の割合
	0.5m未満	0.5m～1.0m未	1.0m～2.0m未	2.0m～5.0m未	5.0m以上	合計		
人口	5,913	495	0	0	0	6,408	53.3%	41.9%
高齢者人口	1,318	112	0	0	0	1,430	44.0%	38.7%

※ 浸水想定区域が複数重複する場合は、想定浸水深度の高いエリアで集計。

(12) 指定避難所の徒歩圏カバー状況

徒歩圏居住	年齢区分				総数に占める割合	(参考) 徒歩避難困難	市全体の割合
	0～14	15～64	65以上	合計			
人口	915	4,072	1,717	6,704	55.8%	5,315	56.1%

※ 徒歩圏は、半径500mとする。

